

## 1 指導の重点

【学習センター】主体的な学習活動を支える機能を高めること。

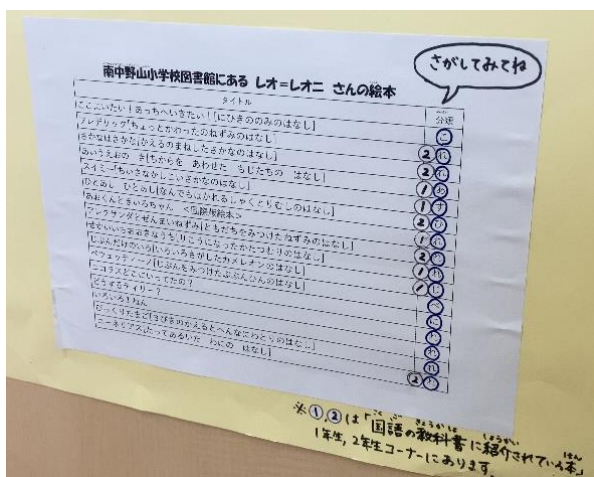
【情報センター】児童の情報収集能力を育成すること。

## 2 取組内容

### (1) 学習センターとしての取組

#### ○ 学習単元に合わせた資料や関連書籍の紹介

見直しを行った「学校図書館年間活用計画」や各学年の年間指導計画をもとに、司書が読み聞かせやブックトークの選書をしたり、図書の準備が必要かの声掛けを行ったりした。調べ学習の参考資料をロイロノート上の資料箱に保存し、紹介した。




<レオ=レオニの本の一覧掲示>

<修学旅行に関する図書の紹介>

#### ○ 実践記録の蓄積


図書館を活用した学習の活動内容が共有しやすいようにロイロノートの資料箱上に、図書館の利用記録の蓄積を行った。

**実践報告カード**  
1年・国語・いろいろなふね



- ・活動内容  
「いろいろなふね」の学習後、好きな乗り物の図鑑を作る活動で調べ学習を使用した。
- ・よかった点や改善点  
活動で使いやすいようにまとめられた本がそろっていたので、調べ学習がやすかった。

**実践報告カード**  
6年生・国語・単元名 日本文化を発信しよう



- ・活動内容  
学校の図書館にある日本文化や和についての本を集めてもらい、自分の興味があるものを調べる活動を行った。
- ・よかった点や改善点  
インターネットの情報よりも分かりやすく、きちんとまとめられる子どもが多かった。

## (2) 情報センターとしての取り組み

### ○ 図書館利用オリエンテーションの実施

図書館の利用方法を身に付けさせるため、学年に応じて図書館の利用方法や本の分類などに関するオリエンテーションを年度初めに行った。また、後期の初めや学習内容に応じて、適宜分類の確認やラベルの見方の紹介などを行った。



<オリエンテーションの様子>



<ラベルの見方揭示物>

### ○ 新聞コーナーの設置

当日の新聞が読める展示台の他に、「ふむふむ」の記事から児童が興味を持ちやすい話題を選び、関連書籍と共に図書館内に展示し、紹介した。



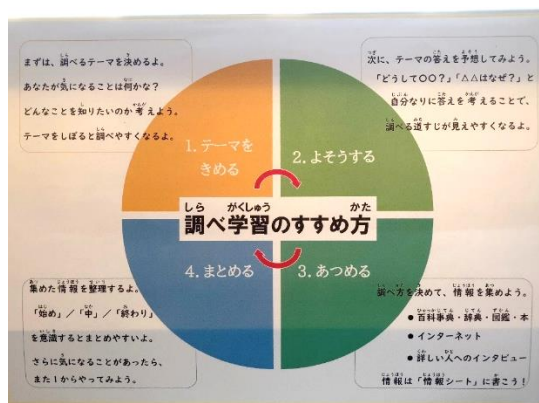
<オリンピック関連>



<防災学習関連>

### ○ 学習に取り組むための環境整備

図書館で学習が進められるように、筆記用具や情報シートの設置、調べ学習の進め方の揭示など環境整備を行った。



### (3) 中学校区との連携

夏休みに情報交換会を実施した。調べ学習の仕方や情報シート、情報活用能力指導体系表の内容を中学校区で共有して作成し、児童や職員に周知した。また、中学校の図書委員から小学生へおすすめの本を紹介してもらい、図書館だよりで紹介して図書館に展示した。今後も6年生へ図書館の様子を紹介したり、中学生が作成したしおりをプレゼントしたりして交流を行う予定。

じょうほう じょうほう  
情報シート

記入日 年 月 日  
年 組 名前

テーマ	
調べること	
わかったこと	
※そのまま書き写すときには「 」でかこみます	
出典(参考にした本)	
本の名前	青ラベル 
著いた人	
出版社	
書いてあるページ	



### 情報活用能力指導体系表(一部)

		小学校1・2年	小学校3・4年	小学校5・6年	中学校1年	中学校2年
つかむ	課題設定	①-1 調べたいことを選んで決める。 ・ポーンチャート、くま手チャート(アイデアを広げる)	①-2 身の回りの課題から、調べる内容を見付ける。	①-3 身の回りの課題から、解決すべき内容を選ぶ。 ②様々な情報から発想を広げていく。	①-4 学校などの自分を取り巻く社会の中での課題を見付ける。	①-5 地域な分や仲間を取社会の中での見付ける。
	学習計画		①-1 効果的な調べ方について見通しをもつ。	①-2 仮説を立てて学習の見通しを立てる(適切な方法を自分で選び、計画を立てる)。 ・フローチャート(順序)	①-3 仲間と相談しながら適切な学習計画を立てる。	①-4 自分と学習計画を比較しながら学習を立てる。
	図書資料以外の方法	① 観察記録 ②-1 人に聞く。(インタビュー) ・分からないことは聞く。 ・分からないときはもう一度聞く。	②-2 人に聞く。(インタビュー) ・質問は1つか2つに決める。 ・事前に聞きたいことを絞る。 ・インタビューのマナーを理解する。 ②-3 人に聞く。(アンケート) ・質問と答えの準備を立てる。	⑤新聞で今の情報を得る。 ⑥複数のメディア(媒体)・複数の情報源に当たる。 ・地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料で調べる。	⑦様々な立場の人へのインタビューをする。 ・異なる立場の方の意見や考え方を比較・検討する。	⑧インターネットを使用する。 ・効果的な検索方法 ・課題に対して適切な利用サイトなどを探し出す。

### 3 成果と課題

#### ○ 成果

- ・年間指導計画をもとに、司書から適切なタイミングで関連図書や参考資料を紹介することができ、学習への意欲や興味が高まった。
- ・高学年部からは、「インターネットの情報よりもわかりやすく、きちんとまとめられる子どもが多かった。」と、図書利用におけるメリットを実感する報告もあった。
- ・年度初め以降も必要に応じて分類番号や本の探し方について話題にしたことで、図書の分類について意識する姿が見られた。

#### ○ 課題

- ・学年が上がるにつれて、探究活動の中心がタブレット端末になっていく。図書と併用する、情報シートを活用するなど、実態に応じた図書館活用の仕方を示していく必要がある。また、著作権や出典、インターネット上の情報の扱い方などについては、図書館教育だけでなく、学校全体として系統立てた指導の必要性も感じた。
- ・情報収集能力を育成するためには、児童自ら目的にあった資料を探す経験が必要不可欠である。図書館内で探究活動が行えるように、学習単元や時勢に合った資料の更新・拡充、環境整備を継続していきたい。